

PSS グループ ワールド・ワイド会議開催される 本社、子会社の来期予算、事業戦略を討議、目標必達を誓う

PSS 本社（PSSJ）、欧州子会社（PSSE）、米国子会社（PSS USA）3 極のトップマネジメントが、年に一度、一堂に集う PSS World Wide Conference が、第 23 期年度末を控えた、6 月 17 日、18 日の両日、松戸本社で開催されました。PSS からは、田島社長以下各役員、責任者が出席、PSSE からは、Kubowski 社長以下 3 名、PSS USA からは、小幡社長以下 3 名が参加しました。



第 23 期においては、当初計画していた業績目標を実現することができず、厳しい事業環境の中での会議となりましたが、第 24 期での確実な、目標達成に向けて、PSSJ、PSSE、PSS USA それぞれの営業目標と課題を検討、意見交換の上、数値目標等が合意されました。また会議では、新製品の開発状況や技術情報、課題が開発責任者から説明され、マーケティング、販売担当者の視点も交え活発な質疑応答となり、例年以上に具体的・実践的で、生産的な 2 日間のワールド・ワイド会議となりました。



初日の冒頭挨拶で、田島社長からは、今期業績が大幅な未達成となり、大変厳しい環境にあることが指摘され、来期予算の確実な達成を出席した各部門の責任者に求めました。一方で、BIST（多項目同時検出デバイス）など、PSSのオリジナル解析技術への評価が高まり、PSSの前処理装置と組み合わせることで、抽出から解析までの小型全自動化装置の実用化が視野に入っている状況を説明しました。



その上で、（１）来期における確実な黒字化達成と（２）オリジナル技術を製品化し、計画通りのタイミングで上市し、さらなる成長につなげること、（３）日米欧間の完全な情報共有による、事業の効率化、人材資源の最適配分の重要性を強調しました。

（後日、詳報します）